



## 2018年 武田社長新年挨拶

1月4日午後3時から、放送センターAスタジオにて、「2018年新春パーティ」が開催され、武田社長が以下のような新年の挨拶を行いました。

あけましておめでとうございます。年末年始の番組・イベントに関わった皆様、大変お疲れ様でした。年末年始の視聴率が、全日、G帯、P帯、ノンプライム帯、全てにおいて去年より良くなっております。数々の番組で創意工夫がされているのを感じました。

去年は、視聴率がG帯で10年ぶりの民放2位、全日帯が全局中3位、これも11年ぶりで、着々と足場を固めてきたという実感を持ちました。ドラマはもとよりバラエティも着実に定着しています。金曜だけでなく、火曜日・木曜日も「TBSを見よう」という人が増えてきているということ、何よりも嬉しく思っております。

番組だけでなく事業では、IHI ステージアROUND東京で上演中の、劇団☆新感線「髑髏城の七人」の券売率が99%台と、今までにない公演を続けております。昨年未までで269公演で35万人のお客様に会場していただきました。アジア各国の演劇関係者も興奮していると聞いており、それをビジネス化するために着々と準備を進めていております。

番組や事業だけではありません。去年、社員・グループ社員全てに「全社員レポート」をお願いし、10年後のTBS・TBSグループはどうあるべきか、そのための提案をいただきました。これを精査していくつものプロジェクトが発足し、進んでいます。

TBS・TBSグループが着実に変わりつつあると確信しております。

### ●宇宙プロジェクト

まず、5年、10年、20年先の事業になるかもしれない宇宙プロジェクトですが、春には宇宙特番の第一弾ができる予定です。それを皮切りに我々TBSグループも、この宇宙プロジェクトを進めている(株)ispaceという、非常に知性溢れる若い情熱家たちの集団を応援し、いっしょに盛り上げていきたいと思っています。

### ●「Paravi(パラビ)」

有料動画配信は大変厳しい競争となっている中、4月に本格サービスがスタートするParaviは、最後発と言ってもいいと思います。ただし、日本経済新聞社やテレビ東京ホールディングス、WOWOW、電通、博報堂DYメディアパートナーズという、今までにない座組みです。コンテンツ制作という我々の最大の強みを活かすためには、我々制作者が主導権を持つ共通のプラットフォームが必要だと考えております。1月1日付で、この動画配信の戦力となる社員が4人入社しました。そうした力も借りながら、ぜひこの有料動画配信Paraviも成功させていただきたいと思っております。

●はなさかす保育園

4月に博報堂、博報堂DYメディアパートナーズと事業所内保育所「はなさかす保育園」を立ち上げます。3社と地元の方の、0歳から2歳児までを預けられる保育園を開園します。これも大きくしていきたいと考えております。

●TBSグループユニバーシティ

社長就任以来、人材開発部をフル稼働して研修を行ってきましたが、4月に、皆さんの学びの場としてTBSグループユニバーシティを設立します。まず今までやってきた研修、各現場でやっている勉強の場を含めて、これを一元管理し、私が学長をつとめ、皆さんに多様な学びを提供していきたいと思っております。

昨年私が出会った方の中で最も感動したのが、建築家の安藤忠雄さんでした。昨年秋に国立新美術館で「安藤忠雄展-挑戦-」を、TBSと朝日新聞社が主催で開催しました。当初入場者数は目標15万人でしたが、最終的に30万人以上が来場しました。安藤さんはその収益の一部を、大阪の中之島公園に建設が予定されている大阪市の子どものための図書施設の運営基金に寄附しようと考えられているそうです。その原型は、福島県いわき市にある絵本美術館。「子どもが自由に本に触れられる空間をつくるため、その未来のために少しでも力になれば」と仰っていました。安藤さんのような挑戦、チャレンジ、この精神を忘れずに、2018年を過ごそうじゃありませんか。私も微力ながらその先頭にたって、頑張る所存であります。今年一年がんばりましょう。ありがとうございました。

以上